



韮の浦学園だより

No.11

2020年(令和2年)9月3日



好奇心から起こる学び ～「油絵って何?」「油で描いた絵かな・・・」～

残暑が大変厳しい毎日が続いています。2週間目が終わろうとしています。元気でいることが全ての土台です。しっかり食べて寝て、よく遊び、よく学ぶ、普段の生活が大切なことを改めて実感しています。

3年生の学習を紹介します。新出漢字の「油」を学習し、漢字ドリルの熟語に「油絵」という言葉がありました。「油絵って何?」「油で描いた絵かな・・・」子ども達は、国語辞典で「油絵」を調べる、インターネットで「油絵」を見る・・・。

その時の担任が素晴らしい。「本物を見るのが一番!寺岡先生が描いた絵があるはず・・・。」と伝えます。すると放課後、数人の子ども達が寺岡先生を探し、油絵を見せてもらい、「なんか、(絵の表面が)ポコポコしていた!」と嬉しそうに担任に教えてくれたそうです。

子ども達はさらに、オープンスペースに展示されている絵画(ふくやま美術館から借りた絵)を見て、「油絵」かどうか確認をしていたそうです。好奇心から起こるこうした学びが、本当の学力につながるのでしょうか。「なに?」「なぜ?」、こうした疑問が本当に大切だと思います。



昨年度から、本校では「義務教育学校の良さを最大限に生み出す」一つの手段として、後期課程の教員が前期課程の授業を行うなど、教科の専門性を生かした取組を進めています。こうした取組に加え、本年度はさらに「チャレンジタイム」を取り入れています。

チャレンジタイムとは、

- ① 教科や学年を超えて、自分が何を学ぶのか「決める・選ぶ・考える」学び
- ② いわゆる学力に加えて、粘り強い取組を行おうとする態度と自らの学習を調整しようとする態度を育む学び

具体的な取組は、学校のホームページ「いのち 輝く!みんなの成長」に掲載していますので、是非ともご覧ください。

【お願い】

毎朝7:30～8:30の間、学校の坂下で子どもたちの安全を見守る交通指導員さんを募集しています。詳しいことは、学校まで連絡ください。よろしくお願い致します。

義務教育学校の良さを最大限に生み出す! ～いのち輝く!子ども達と教職員～

～学年・教科を超えた学びへの挑戦～



4～6年生が、既習事項を使って「正〇面体」作りを通して、図形の性質を発見しました。



3年生が、折り紙を使って、国語や算数、理科などの学習へつなげた学びに挑戦しました。



8年生が、「枕草子」や清少納言の魅力について、5年生に伝え、表現力を高めました。

前期課程・後期課程の交流

～教員の得意分野(免許所持)を発揮して、生き生きと学ぶ～



4年担任とALTが行う3年生の外国語活動。子ども達は楽しく英語に親しんでいます。



5年生担任による6年生音楽の授業と6年生担任による5年生英語の授業。免許を所持した教員による交換授業で、質の高い授業を目指しています。この取組は、後期課程での教科担任制へつながっています。



～教員の専門性を活かして、学ぶ意欲を高める～



5年生の図工で、美術担当教員の指導により、高度な技術を使った活動にも挑戦できました。



理科担当教員による3・4年生の理科は、担任とは違った角度から子ども達を支援できます。



5・6年生の保健体育担当教員による授業では、専門的な指導で運動能力向上を図ります。

【お知らせ】

英語担当の上野教諭が病気休暇をとることに伴い、明日より松岡久美子教諭が後期課程の英語の授業を担当します。